

日本語学習支援ボランティアべにばな会の活動①

べにばな会では日本語学習支援のほかに、学習者と支援者の交流を深めるイベントや研修会を行っています。

自主勉強会を開催しました



昨年（さくねん）から引き続き（ひ つづ）、文法（ぶんぽう）自主勉強会（じしゅべんきょうかい）を開催（かい）しました。第5回（だいご）は6月1日（ろくにんいち）（日）に開催（かい）して8名（はちまい）が、第6回（だいご）は6月8日（ろくにんはち）（日）に開催（かい）して7名（しちまい）が参加（さんか）しました。『日本語教育文法講義ノート』（にほんごきょういくぶんぽうこうぎのノート）（アルク出版）をテキスト（てきすと）として使用（し）し、会員（かいいん）がファシリテーター（ふぁしりてーたー）を務（な）め、日本語文法（にほんごぶんぽう）について学（ま）びました（だい1～4回は令和5年度（れいわねんど）に開催（かい）済み（済み））。

7月20日（しちがつはつか）（土）には自主勉強会（じしゅべんきょうかい）「日本語支援（にほんごしえん）のあれこれ（あれこれ）」を開催（かい）し14名（じゅうよんまい）が参加（さんか）しました。支援（しえん）の流れ（なが）や教材（きょうざい）選定（せんてい）のしかた（しかた）、日本語能力試験（にほんごのうりよくしけん）（JLPT）対策（たいさく）について学（ま）んだあと（あと）、会員（かいいん）による模擬学習（もぎがくしゅう）を見学（けんがく）しました。

学習支援見学会

学習者（がくしゅうしゃ）とどのように関わり（かか）学習支援（がくしゅうしえん）を行（おこな）っていったらいいか（い）を具体的（くわい）に学（ま）ぶため（ため）、10月11日（じゅうがつじゅういちにち）（金）, 13日（じゅうさつ）（日）の2回（に）に渡（わた）り学習支援見学会（がくしゅうしえんけんがくかい）を開催（かい）し、延べ（の）10名（じゅうまい）が参加（さんか）しました。

会員（かいいん）が実際に（じっさい）学習支援（がくしゅうしえん）を行（おこな）うところ（ところ）を見学（けんがく）し、テキスト（てきすと）の使い方（つかいかた）や学習（がくしゅう）の進め方（すすめかた）を学（ま）びました。



スキルアップ講座「日本語は面白い！～ネイティブの知らない日本語のヒミツ～」

令和7年1月19日（れいわねんがついちにち）（日）、『日本語びいき』（にほんごちゅうこうぶんこ）や『すばらしき日本語』（すばらしきにほんご）（ポプラ新書）の著者（ちやくしゃ）である日本語教師（にほんごきょうし）の清水由美先生（しみずゆみせんせい）を講師（こうし）にお招き（まね）し、スキルアップ講座（すきるあっぷこうざ）「日本語は面白い！～ネイティブの知らない日本語のヒミツ～」を開催（かい）しました。参加者（さんかしゃ）は23名（にじゅうさんまい）、今回はじめて（めいご）近隣市町（きんりんしちやう）の日本語学習支援団体（にほんごがくしゅうしえんだんたい）にも講座（こうざ）の案内（あんない）をお送り（おく）し、酒田市（さかた）以外（い）からも5名（ごまい）の方（かた）にご参加（ごさんか）いただいて、支援者（しえんしゃ）同士（どうし）の交流（こうりゅう）もできました。

講師（こうし）の清水先生（しみずせんせい）は、謙讓語（けんじやうご）や授受表現（じゆじゆひやうげん）、指示詞（しじし）、音声学（おんせいがく）などの難（むず）しい内容（ないよう）、ドラマ（どらま）やCM（さくらん）など（など）に出てくる（で）身近（みぢか）な日本語（にほんご）を例（れい）に取（と）って笑（わら）いを交（か）えながら（ながら）お話し（お話し）してくださいました（してくださいました）。参加者（さんかしゃ）からは大変（たいへん）わかりやす（わか）く楽（たの）しく学（ま）ぶことができた（できた）との声（こゑ）が多く（おほく）寄せられ（よ）せられました。

自然（じぜん）に身（み）に付（つ）いて話（はな）している母語（ぼご）だからこそ（こそ）気づ（き）づかない（ない）日本語（にほんご）の特（とく）徴（てい）やおもしろい（おもしろい）部分（ぶぶん）を学（ま）ぶことができ（でき）、大変（たいへん）有意義（いういぎ）な講座（こうざ）となりました。



講師の清水由美先生



清水由美先生の著書はべにばな会図書で借りることもできます。ぜひご一読ください。